

東京都エコ農産物認証申請書(栽培計画書)

【化学合成農薬削減技術】

- | | |
|----------------|------------------|
| ① 温湯種子消毒技術 | ② 機械除草技術 |
| ③ 除草用動物利用技術 | ④ 生物農薬利用技術 |
| ⑤ 対抗植物利用技術 | ⑥ 抵抗性品種栽培・台木利用技術 |
| ⑦ 土壌還元消毒技術 | ⑧ 熱利用土壌消毒技術 |
| ⑨ 光利用技術 | ⑩ 被覆栽培技術 |
| ⑪ フェロモン剤利用技術 | ⑫ マルチ栽培技術 |
| ⑬ 天然物質由来農薬利用技術 | |

【化学肥料削減技術】

- ① 局所施肥
 ② 肥効調節型肥料施肥
 ③ 有機質肥料施肥
 ④ その他
 試験研究機関等で開発された技術

【土づくりの技術】

- ① 堆肥施用
 ② 緑肥作物利用
 ③ その他 試験研究機関等で開発された技術

*1 農産物名	*1 認証区分	*1 作型 露地 / 施設	*1 作付面積 (a)	*1 栽培期間	*2 *3 土づくりの技術		*2 *3 化学合成農薬削減の技術		*2 *3 化学肥料削減の技術		目標収量 (kg/10a)
					*2 番号	*3 有機質資材等 使用量(kg/10a)	*2 番号	*3 化学合成農薬 使用回数(回)	*2 番号	*3 化学肥料施用量 (窒素成分kg/10a)	
ホウレンソウ	① 25	春～初秋まき	5	4月 ～ 5月	②		⑩	4	③	10.5	1,000
	② 50	露地 / (施設)			土づくりの技術 具体的内容 緑肥の使用						
					農薬削減の技術 具体的内容 施設開口部に防虫ネットを展張し、害虫の侵入を防						
キャベツ	① 25	秋まき初夏どり	5	11月 ～ 6月	①	1,000	④		①	7.5	4,000
	② 50	露地 / 施設			土づくりの技術 具体的内容 牛ふん堆肥の施用						
	③ 100				化学合成農薬削減の技術 具体的内容 ④BT剤をローテーション散布に組み込む ⑪フェロモン剤により交尾阻害を図る						
					化学肥料削減の技術 具体的内容 条施肥を行なう						

該当する認証区分に「○」

導入した技術を具体的に記入する

申請者が予定している堆肥等、有機質資材の使用量、化学合成農薬の使用回数、化学肥料の施用量を記入する ※別表2の上限值を超えないこと

栽培期間は在園期間(本園に播種・定植してから収穫終了まで) =育苗期間、仮植期間は含まない
 ただしウドは根株養成期間を含む
 ※アシタバ、アスパラガス等複数年にわたって収穫する野菜、およびパッションフルーツを除く果樹、食用つばき、茶は記入不要

農産物名、及び作型は別表2を参照
 露地/施設のいずれかに「○」